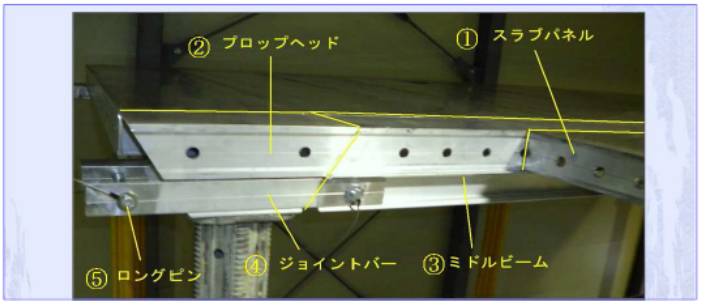
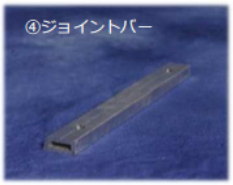
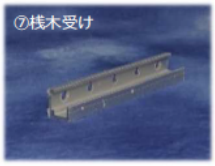
アルミ製型枠

アルサップ工法のスラブシステム型枠とは？







① 基本構成部材が少ない
　＝部材管理がとても簡単

② ピン・クサビ連結で組立てるだけ
　＝組立・解体作業が簡単で早い

③ 軽量化・精度管理が容易
　＝高齢者・未熟練工にも優しい

④ 従来工法と比較し転用回数が多い
　＝材料の上げ下ろし作業低減

⑤ 従来工法と比較して高所作業の低減
　＝スラブは下から施工

⑥柱・壁・基礎に併用して使用が可能

ピン・くさびがメイン接合金物

NETIS登録Ｎｏ．QS-130017-A

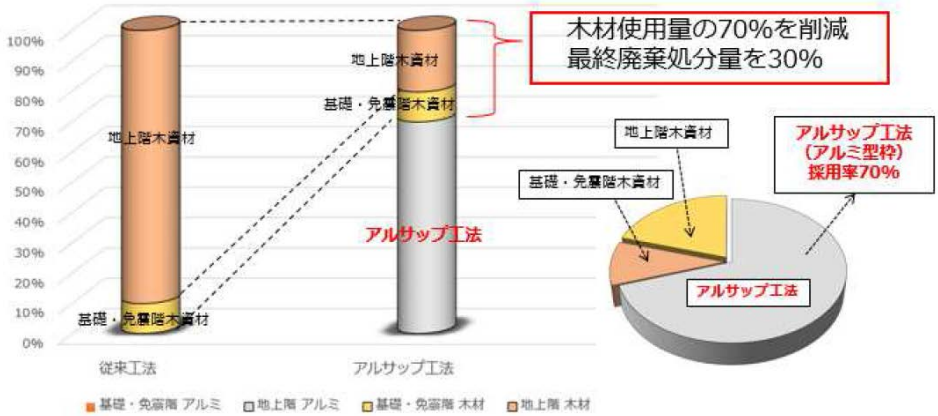
パネル表面は不陸がない

スラブは下から施工

解体ゴミが極端に少ない

環境への貢献として・・・・

【木資材削減比較】



結果

・基準階における計画から、木資材使用率を70%削減
・アルサップ工法の効果により、施工歩掛りが向上
　アルミ化範囲 目標：27㎡ ⇒ 実施：27㎡
　（＊参考：マンション施工　従来工法における全体歩掛り実施8.0㎡）

アルサップ柱システム　　施工実例

柱：SRC造　梁・スラブS造　物流施設（福岡）
2016年9月施工：トランスタワータイプ

外国人研修生による施工

根巻き柱タイプ　補強なし（h2000）

基礎工事計画・・・・□型引き抜きベース型枠（メタラップル）

実施工状況

打設足場付で引き抜き転用

打設状況

福岡施工事例

大阪施工事例

株式会社アクティオ

エンジニアリング事業部　建築部　資材課

〒136-0075　東京都江東区新砂3-6-41

東京ＤＬセンター内センター棟3階

TEL：03-6666-2329　FAX：03-6666-2536

御用命は